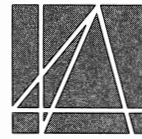


清流



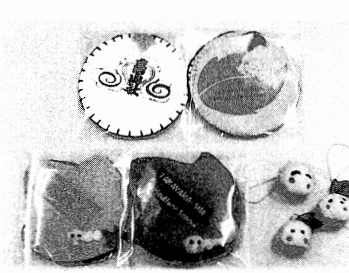
No. 32

●発行 社会福祉法人 かんな会
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

世界文化遺産 高山社跡
土産「四ノ一」に商品
させて貰っています

☆藤岡市福祉支援センター
もくせい

・桑の葉のコースター
・葉にくるまれた蚕を
イメージしたストラップ



☆かんの里

・まゆ形のスリーデーメモ
・シルク入りストール
・和紙の葉書



..... (かんの里 平成26年10月～平成27年3月までの主なできごと)

| | |
|-----|---|
| 10月 | 服巻先生セミナー(2日、桐生みやま看護学校保護者見学会) 県指導監査(10日、6日、20日) 日帰り旅行(10日、15日) 藤岡東中学校、藤樹祭招待(今シカメ寄贈) |
| 11月 | 消防立入り検査 音楽会、松花堂弁当(10日)しらのめ信用金庫絵画展搬入(4日、28日) 4日より 新島短大生実習(2名、12日間) 研究発表会(5日) 新井由佳菜「個々に合わせた食生活の追求」最優秀賞 インフルエンザ予防接種(6日) 定期健診(7日) 県社会福祉大会(15年表彰、團長、事務長、島野、吉田、松井) 保護者会旅行(こころみ学園、足利フラワーパーク) 東朋会清掃(12日) 職員旅行(アしらとり、14日、15日と21、22日) 美土里地区民生委員見学(18日) 吉井民生委員見学(26日) 第二回理事、評議員会 |
| 12月 | クリスマス会(18日、舞舞クラブ) もちつき、大掃除(26日) 冬期帰省(28、1、4まで) 第15回地域支援セミナー(岡田恭典、和久田学氏) ゆうあいフェスティバル |
| 1月 | 群馬医療福祉大生実習(19、21日) 関東保守防災点検(16日) 班外出(18日、25日) あすなる祭(27日、28日) 育英短大生実習(2日、11日と11日、11日、2名) |
| 2月 | 西側倉庫工事 第三回理事、評議員会(予算、事業計画等) 県福祉協会総会(26日) 保健衛生管理委員会(30日) 年度末大掃除(31日) |
| 3月 | |

ポプラ

〈開所して一年経ちました〉
管理者兼サービス管理責任者
松井 保隆

10名の利用者さんで始まったポプラも現在は16名となり、毎日賑やかに活動しています。一年を振り返ると本当にたくさんの楽しいこと、嬉しいこと、失敗したことがありました。利用者さん、職員ともに初めての環境・活動・行事等であつという間に過ぎた一年だったと思います。

活動としては、ポプラは絵画をはじめとした創作活動に力を入れています。一年経った今でも利用者さんの意外な才能・感性に驚かされます。また、そういった創作活動が好きな人も多く、本人にとってポプラでの楽しみになっている人も多々あります。

行事では皆でバスに乗って出かけた日帰り旅行(東武動物公園)、皆でケーキを作ったクリスマス会など色々ありました。高崎のサンピアにて行われた新年会では美味しい料理にゲーム大会、カラオケ大会で盛り上がりました。またその際、4月からのポプラでの活動風景をスライドショーで見ましたが、楽しそうな利用者さんの姿が映し出されるたびに、嬉しさと喜びが

..... (ポプラ 平成26年10月～平成27年3月までの主なできごと)

| | |
|-----|--|
| 10月 | 日帰り旅行 東武動物公園(2日) 県監査(8日) みやま看護学校実習生1名(8日、10日) みやま看護学校実習生1名(22日、24日) インフルエンザ予防接種(6日) |
| 11月 | 定期健康診断(7日) 職員研修旅行(14日、15日) お楽しみ外出 映画館へ(19日) お楽しみ外出 みかん狩り(20日) 職員研修旅行(21日、22日) みやま分校学習発表会見学会(5日) |
| 12月 | クリスマス会(23日) 大掃除 もちつき(26日) 冬季休暇(27日)～1月4日) 地域支援セミナー(10日) ゆうあいフェスティバル(20日) |
| 1月 | 新年会(22日) みやま看護学校実習生(29日、10日) 伊チゴ狩り外出(19日) 昼食外出(23日) あすなる祭見学(27日) 避難訓練(27日) |
| 2月 | |
| 3月 | |



こみ上げてきたのを思い出します。
これからも楽しい事がいっぱいあるポプラ、安心して毎日通いたいポプラを目指して支援していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

障害者支援施設で働いています



かんの里生活支援員 高橋 卓也

私は大学を卒業してから4年間営業の仕事をしていました。顧客を回り、商品を売っていく日々の中で自分は何の為にお客様の所へ行くのか、困っているお客様がいるのに会社の利益を優先する考えに疑問を感じる様になりました。もっと純粋に人と向き合い、少しでも困っている人の助けになる様な仕事がしたいと思いい福祉の仕事を考える様になりました。



かんの里生活支援員 茂原 敬

かんの里の生活支援を担当し三年目になりました。以前は電子部品分野で技術開発一筋、毎日PCと向き合う生活を送る根っからの理系男子でした。高度成長の中核を担う華やかな業界でありましたが、バブル崩壊と特定アジア諸国との競争に敗れ地味な業界へ変貌、年齢と共に仕事量が激増し見切りをつける形で第二の人生に進みました。

かんの里にお世話になるきっかけは、自宅近くの養護学校の生徒さんです。仕事に影響し日々ピリピリした生活と真逆な生活を送りたいと思っていましたので、人の役に立つ仕事をあえて選択しました。今は福祉に関わることに満足しています。今後利用者の方々日々喜びを求め、共存していきたいと思えます。



かんの里生活支援員 原 香

以前は旅行業関係その他、福祉とは全く無縁の職種に携わっていました。去年の4月採用になり、すぐ初任者研修に参加する機会を頂き、職場の円滑な人間関係がよりよい支援を生む、具体的には職場の連携、他の職員に関心をもち、協力・協働すること、時には愚痴を言える仲間の存在であること、が大切と教えられました。

同期の新卒3人はフレッッシュで可愛くて、何より若いのに良く気が付き、一番身近なお手本となる存在でした。そして同年代40代の2人は、戸惑いながらも体を張って支援していて、「私も頑張らなくては」と励まされています。40過ぎて、こんなにも密に同じ時を過ごし、支援することの難しさを共有する仲間ができるとは想像していませんでした。



藤岡市福祉支援センターもくせい職業指導員 萩原 英幸

私は、もくせいに入職し四年になります。前職は、半導体メーカーに十七年勤務し、品質管理を担当しておりました。工場の移転を機に以前から関心のありました福祉へ転職を希望し、現在に至っております。職種が異なる環境で、始めは利用者さんとのコミュニケーションのとり方で戸惑いがありました。徐々に会話も増え、今は利用者さんと協力しながら日中活動に励んでおります。

現在、就労継続B型事業を担当し、前職のノウハウを活かして、作業訓練や職場実習・定着支援など、企業との橋渡しを行っています。その中で利用者さんの就労に対する不安が自信に変わった時、職業指導員としてのやりがいを感じております。これからも、先輩方からご指導を頂きながら、支援に力を入れて参ります。



ポプラ生活支援員 下田 八重子

人と接することが好きだった私は、昨年2月、4月からポプラ開所に伴う職員募集を見て、全くの異業職から迷わず応募しました。2月末で契約終了したため、すぐ3月1日から、かんの里で1ヵ月研修を受けました。特に自閉症スペクトラムの障害特性については、業務終了後や休日の勉強会にも早速参加させて頂き、新しい知識の連続に戸惑いながらも、未知の世界の魅力に引き込まれました。支援の前提となる利用者者の特性の理解のための観察や情報の整理の大切さも、先輩職員に教わりました。

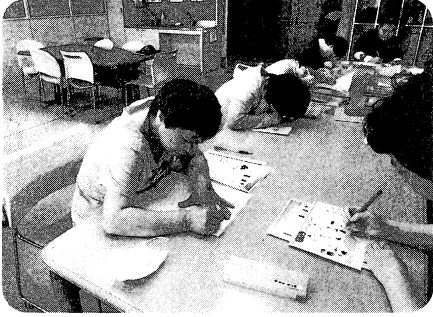
ポプラでは利用者さんと楽しい日々を過ごしています。毎日の作業活動や外出行事など、一生懸命な姿には胸を打たれます。通所施設は保護者の方々とのつながりが密接で、又保護者の強い家族愛を認識させられ、それに応える職員に成長したいと思えます。

かんな会が発足して十七年。異職種から福祉の現場でがんばっている職員から

藤岡市福祉支援センター

〈生活介護事業〉

生活介護作業班では、「働く」ことを通じ、生きる喜びや充実感が得られるよう、それぞれの特性に合った作業を提供し、利用者の皆さんは毎日一生懸命作業に励んでいます。毎月のお給料日や年3回のボーナス支給日には頑張った成果を手にし、皆、笑顔で使い道など思いを巡らせています。



(記：生活支援員 安積美紀)

〈就労継続B型事業〉

就労継続支援B型事業の作業班は、15名の利用者さんが所属しています。各々数種類の仕事を担当し一つ一つの責任をもって取り組んでいます。



(記：生活支援員 田中 希)



平成27年3月の主なできごと

10月

- 群馬県立産業技術専門校職業訓練実践能力取得訓練コース入校1名(2日)、2か月間)
- みやま養護学校PTA40名来所見学(6日)
- 前橋市内特養施設職場実習1名(7、10日)
- 就労継続B型・就労班利用者
- 群馬県社会福祉施設等実地指導検査(9日)
- 群馬県内介護事業所見学(30日)
- 合同就職面接会(29日、ピエント高崎 就労継続B型・就労班利用者)

11月

- 群作連第三ブロック交流会(5日、富岡市一宮体育館)
- 利用者健康診断(7日)
- 関東地区知的障害関係施設種別代表者会議(13、14日、メトロポリタン高崎)
- 利用者インフルエンザ予防接種(27日)

12月

- 藤岡市内特養施設一般雇用者1名(14日)
- 群馬大学附属特別支援学校3名来所見学(17日)
- みやま養護学校藤岡分校16名来所見学(20日)
- 高崎市内飲食店一般雇用者1名(23日)
- クリスマス会(下旬、事業毎)
- 保護者会・納会(26日)
- 冬季休暇(27日～1/4日)

1月

- かななの里地域支援セミナー(10日、みかほみらい館)
- 藤岡市内企業へトリアル雇用者1名(21日)
- 市障害者団体新年会(25日、諏訪神社)
- 高崎市立養護学校30名来所見学(28日)

2月

- 藤岡消防署立ち入り検査(16日)
- 利用者個別面談、個別支援計画策定(23日)

3月

- 藤岡東中学校3名来所見学(9日)
- 防災訓練(17日、藤岡消防署立ち会い)
- 高山社へオリジナル自主製品販売(25日)
- 年度末食事会(26日、所内)
- 二葉養護学校3名来所見学(30日)

平成26年度を振り返って

サービス管理責任者 松浦 敏幸

平成26年度は、個性豊かな19名の利用者さんと様々な活動を行いました。

10月の音楽会では、利用者さん・職員で出し物(歌とダンス)を手作りの衣装を着て、元氣いっぱい行いました。本番では皆さんとても緊張している様子でしたが、練習の成果を発揮することが出来ました。結果はなんとマロニエ初の最優秀賞を頂き、利用者さんの嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。

1月の新年会では、保護者の方の前でも出し物を発表しましたが、とても盛り上がり喜んで頂けました。又、3名の方が新成人となり、楽しい雰囲気の中でお祝いすることが出来て、とても良かったと思います。

平成26年度は、大きな事故や怪我も無く、皆さん元気に活動することが出来ました。27年度も引き続き、安心・安全に過ごせることに加え、一人一人のニーズ・特性に合わせた支援が出来るように努めていきたいと思えます。

平成27年3月の主なできごと

10月

- 日帰り旅行
- (2日) 渋川スカイランドパーク
- (6日) 軽井沢 おもちゃ王国
- (10日) 榛名湖 散策
- (県監査9日)
- 音楽会(30日)

11月

- インフルエンザ予防接種(6日)
- 定期健康診断(7日)
- 職員研修旅行(1班 14・15日 2班 21・22日)

12月

- みやま分校学習発表会見学(5日)
- クリスマス会(23日)
- 餅つき 大掃除(26日)
- 冬季休暇(27日～1月4日)

1月

- 地域支援セミナー(10日)
- 新年会(16日)
- ゆづあいフェスティバル見学(10・20・21日)

2月

- 節分 豆まき(3日)
- 避難訓練(13日)
- お楽しみ外出(18・19・23・24・25・26日)
- あすなろ祭見学(27日)

3月

- 退所者 退職者 お別れ会(31日)



相談支援事業所

相談支援専門員 君野 文子

平成二十四年度から昨年度までの三年間で、障害福祉サービス等利用する全ての方にサービス等利用計画を届けると言うことが国の方針で決まり、当事業所では、二百名を超える方々（市内百六十名、市外四十名）の計画相談に携わらせていただきました。まだまだ計画相談が入って良かったと言っていただけのような仕事ができているかもしれませんが、担当させていただいた方々の地域生活の伴走者の一人として、回数を重ねる中で信頼関係を築き、いつでも相談でき、希望する生活、その人にとっての自立した生活に近づくためにどのようにしていくのか一緒に考え、その言葉に表現して関わる人みんなが共通理解をもてるような計画を届けられるよう、努力していきたいと思っております。

昨年度も、保育園、幼稚園、学校、学童保育所、医療機関、訪問看護ステーション、介護保険のケアマネージャー、行政機関、そして、障害福祉サービスの事業所等、たくさんの方々に大変お世話になりました。電話をする、「連携ですね」とか、「担当者会議ですか」と言っていただけのこと、大変有難く思っております。今年度も宜しくお願い致します。

障害者就業・生活支援センター

トータス

主任就業支援ワーカー 亀井あゆみ

平成26年4月に事務所が移転になって早1年。以前に比べて来所される方が増えてきました。職員も1名増員になって5名の体制になり、26年度も企業で実習を体験された方が42名、企業へ就職した方が45名でした。

障害者雇用の動向としましては、50人に1名障害者を雇用しなくてはいけない法定雇用率に該当する企業も該当しない小規模の企業も障害者雇用を検討して頂ける企業が年々増加している傾向があります。

当法人でも障害者雇用を進めており、共に働く仲間として、3名の方が現場で活躍しています。今年の2月には、みかほみらい館で企業の方を対象とした情報交換会が開催され、雇用する側と働く当事者の発表を行いました。

障害者雇用は決して特別な事ではなく、職場に必要な人材になっていくことや当事者側から働きたい気持ちちはみんな一緒である思いを発表し、参加者の方々へ生の声をお伝えさせて頂きました。

今年度も地域の障害者雇用の発展と働くことで得られる喜びや感動を1人でも多くの方に体験して頂けるよう、センター一同頑張っております。今年度もよろしくお願い致します。

グループホーム

あじさい

世話人 角田 秀子

開所三年目の春を過ぎ、6人の利用者さん達も、あじさいでの生活にすっかり慣れた様です。毎日もくせいとマロニエに通い、大きな声で「ただいま」と帰ってきます。お天気の良い日曜日は、午前中草むしりやごみ拾いをしたあと、あじさいの周りに設置して頂いた、日当たり最高の長いフェンスに、ずらりと布団や洗ったシーツなど干し、気持ち良いながめです。

秋には、藤岡市の歙夢庵でピザ焼き体験をして、昼食にしました。色々用意されたコーン、ピーマンなどのトッピングを自分で好きなように載せて焼いて頂き、焼きたてを食べました。おいしくて2枚3枚と作りお腹いっぱいになりました。その日の夕食はカラオケで三人の誕生日会を兼ねにぎやかに祝いし、最後にミニチョコパフェも食べ、幸せな一日でした。



グループホーム

かりん

世話人 塩野 光枝

木々が芽吹き、爽やかな季節です。男性だけの生活が始まり、一年が過ぎました。平日の洗濯・風呂・トイレ掃除は当番を決めてしています。週末の過ごし方が変わりました。一般就労で、週末休めない人、金曜日に家に帰る人、ひとりだけからんで過ごす人と三者三様だからです。土日に皆んな揃ってしていた大掃除、ゴミ拾い、草むしり等が、人手不足のため、はかどらないのが悩みの種です。

月一回のかりんの会では、各自が近況報告を笑顔で話し、質問にも、はきはき答えています。良いアドバイスを戴き、励まされ、満足しての帰り路、コンビニで好きな弁当・飲み物を買って食べるのも楽しみの一つです。

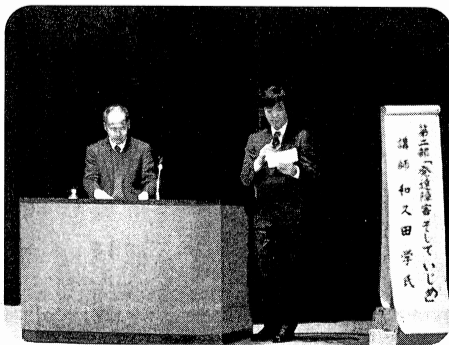
バックアップ施設「かななの里」の助言・見守りや戴き、元気に仲良く過ごしていきたいと思っておりますので、今後共、どうぞ宜しくお願い致します。

第15回地域支援セミナー

平成27年1月10日
みかほみらい館

自閉症児の療育と支援

- 一部 岡田 恭典氏 (群大小児科医師)
- 二部 和久田 学氏 (こども発達科学 研究所所長)



編集後記

近年、福祉関係の職場への求人不足が深刻となっております。さらに、現場は高齢化、重度化に伴い、ピンポイント(例えば入浴、食事)的に介助する人が増えてきています。ますます職員が必要となってきています。今回は、異業種から転職し、正職員としてがんばっている人も沢山いるということを紹介し、今後もこういう人たちが来てくれたら、という期待を込めて、特集しました。(N・S)